

各 位



2014年10月29日

会 社 名 株式会社メガチップス  
代 表 者 名 代表取締役社長 高田 明  
(コード番号 6875 東証第一部)

### SiTime Corporationの買収に関するお知らせ

当社は、SiTime Corporation（本社：米国カリフォルニア州、以下「SiTime社」）の全株式を取得することにより、当社の完全子会社とすることを決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 買収の目的

当社グループは、中長期に渡る継続的な事業拡大と企業価値向上を目指すため、新たなグローバル事業の育成と海外顧客ビジネスの拡大に取り組んでまいりました。

これまでもグローバル事業を拡大することを目的として、2013年4月1日に当社の連結子会社であった川崎マイクロエレクトロニクス株式会社を吸収合併した後、アメリカ、中国、台湾、インドの海外拠点の体制強化を積極的に行い、海外ビジネス基盤を確立するとともに、これまでの主要な事業であるASIC製品に加え、グローバル事業に適したASSP製品の開発に注力してまいりました。また、2014年2月には、「STMicroelectronics」からDisplayPort関連製品事業の買収により、映像機器インターフェイス分野での米国大手IT企業向けビジネスを獲得し、2014年4月には、米国「Vidatronic, Inc.」への出資による電源IC分野への参入に加え、台湾「Modiotek Co., Ltd.」の出資により、中国・台湾顧客への技術サポート、マーケティング、開発体制の強化を図るなど、グローバル事業の拡大を積極的に行ってまいりました。

当社グループでは、今後大きな成長が期待されるモバイル、ウェアラブルを含むIoT分野に向けた事業展開を目指し、M&Aや自社の研究開発投資を積極的に進め、同分野向けASSP製品の充実を図っております。

今回その一環として、既存の水晶発振子を置換えるMEMS（Micro-Electro-Mechanical Systems）発振子及びMEMS発振器などのタイミングデバイスを開発・販売するSiTime社の全株式を取得することにより当社の完全子会社とし、タイミングデバイス事業へ参入いたします。

2003年に設立されたSiTime社の製品は、すでに大手カメラメーカーのデジタルカメラや電子書籍リーダー、ウェアラブル機器、通信ネットワークのインフラ装置などに採用され、MEMSタイミング市場で80%のシェアを獲得しております。

今現在、通信機器や消費者向け機器、産業用機器に使われるタイミングデバイスは、既存の水晶発振子を用いたものが主流となっておりますが、MEMS発振子を用いたものは既存品に比べ、サイズと消費電流が際立って小さく、また、SiTime社の独自技術で、これまで水晶に比べ劣るとされた温度変化に対する発振周波数の安定性が、水晶と同等もしくはより改善されたことにより、ウェアラブル機器やスマートフォン・タブレットに代表されるモバイル機器に最適なデバイスとなります。このMEMS発振子と独自の電子回路の組合せにより、水晶発振子による既存品を凌駕する精度、安定性、サイズ、消費電力、耐衝撃性、コストを実現いたします。さらに、当社グループがすでに持つ技術・製品とのシナジーにより、当社が目指すIoT分野での事業展開を加速していく考えです。

引き続き、当社グループは、新しいアプリケーションを創造すると共に、システムソリューションを提供し続けるグローバル企業として、新たな戦略に基づき成長と高収益を両立させ、継続的に企業価値の向上を目指してまいります。

## 2. 買収について

### (1) 買収契約（Agreement and Plan of Merger）の当事者

当社、買収目的特定子会社、SiTime社と株主代表者

※当社とSiTime社の各株主との間に、特別な利害関係はございません。

### (2) 買収契約等

買収額は2億ドルですべて現金とし、当社より支払代理人である「MUFG Union Bank, N.A.」（米国カリフォルニア州）を通じて、SiTime社の各株主に支払います。当社が設立した買収目的特定子会社（米国デラウェア州）とSiTime社が合併し、SiTime社が存続会社となります。これにより、当社は合併後のSiTime社の全部の株式を取得し、当社の完全子会社といたします。

買収資金は、クロージング後に支払いますが、当社の手元資金と銀行借入により全額確保しております。

また、この買収に際し、EYトランザクション・アドバイザー・サービス株式会社にデューデリジェンス及び価値算定業務等を依頼し、SiTime社の財務内容及び買収価格を検討いたしました。

### (3) クロージング

本件は、2014年11月末日までにクロージングの予定です。

## 3. 取得する子会社（SiTime社）の概要

(1) 名称	SiTime Corporation		
(2) 所在地	990 Almanor Avenue Sunnyvale, California 94085 U.S.A		
(3) 代表者の役職・氏名	CEO Rajesh Vashist		
(4) 事業内容	MEMS（Micro-Electro-Mechanical Systems）をベースとしたタイミングデバイスの開発及び販売		
(5) 資本金	144 千米ドル（約 15 百万円）		
(6) 設立	2003 年 12 月		
(7) 大株主及び持株比率 (2014 年 6 月 30 日現在)	Open Joint Stock Company RUSNANO	18%	
	The Bosch Group	13%	
	New Enterprise Associates (NEA)	13%	
	Greylock partners	12%	
	Knowles Electronics, LLC	10%	
(8) 上場会社と当該会社との 間の関係	資本関係	記載すべき該当事項はありません。	
	人的関係	記載すべき該当事項はありません。	
	取引関係	記載すべき該当事項はありません。	
(9) 従業員数	93 人		
(10) 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態			
	2011 年度	2012 年度	2013 年度
純資産	14,517 千米ドル (約 1,588 百万円)	8,678 千米ドル (約 949 百万円)	△2,458 千米ドル (約△269 百万円)
総資産	24,235 千米ドル (約 2,652 百万円)	15,943 千米ドル (約 1,744 百万円)	13,298 千米ドル (約 1,455 百万円)
売上高	16,801 千米ドル (約 1,838 百万円)	18,236 千米ドル (約 1,995 百万円)	15,524 千米ドル (約 1,699 百万円)

営業利益（△は損失）	△11,472 千米ドル (約△1,255 百万円)	△12,560 千米ドル (約△1,374 百万円)	△13,529 千米ドル (約△1,480 百万円)
当期純利益（△は損失）	△11,220 千米ドル (約△1,228 百万円)	△13,555 千米ドル (約△1,483 百万円)	△23,105 千米ドル (約△2,528 百万円)

(注) 為替レート 1 ドル=109.45円 (2014年9月30日付三菱東京UFJ銀行公表TTMレート) にて円換算しております。

#### 4. 買収目的特定子会社の概要

(1) 名称	Miyahara Acquisition Corporation
(2) 所在地	米国デラウェア州
(3) 代表者の氏名	藤井 理之 (当社専務取締役・執行役員管理統括部長)
(4) 事業内容	買収のための特定目的会社
(5) 資本金	10 ドル
(6) 設立	2014年10月10日
(7) 大株主及び持株比率	当社 100%

#### 5. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0 株 (議決権の所有割合：－%)
(2) 取得株式数及び取得価額	普通株式：13,444,713 株 優先株式：130,736,553 株 (議決権の所有割合：100%) (発行済株式数に対する割合：100%) (取得価額：2 億米ドル (約 218 億円))
(3) 異動後の所有株式数	普通株式 13,444,713 株 優先株式 130,736,553 株 (議決権の所有割合：100%)

#### 6. 日程

2014年10月22日 (西海岸標準時)	株式取得に関する契約締結、連邦司法省へ独禁法の届出
2014年10月29日 (西海岸標準時)	主要株主からの同意取り付け
2014年11月中 (予定)	連邦司法省からの認可後、対価支払いにより SiTime 社株式取得

#### 7. 今後の見通し

今回の株式取得 (子会社化) が2015年3月期の業績に与える影響は軽微であります。

#### (用語の説明)

- ・IoT (Internet of Things) :  
一意に識別可能な「もの」がインターネット/クラウドに接続され、情報交換することにより、相互に制御する仕組みを指します。
- ・MEMS (Micro-Electro-Mechanical Systems) :  
微細加工技術を用いて製作された微小な電気機械システム。当社が取得したタイミングデバイスの他、センサー、モーター、ディスプレイ等に応用されています。
- ・タイミングデバイス :  
圧電現象を利用して一定の周波数を生み出すデバイスで、電子機器に正しい時間と速度で情報を送ります。

以 上